

令和4年度 板橋区立美術館運営協議会 会議概要

開催日時	令和4年12月22日(木) 10時00分から12時00分
開催場所	板橋区立美術館講義室
出席者	19人 [委員] 岸委員、榑原委員、佐藤委員、柴田委員、返町委員、寺田委員、長田委員、安村委員、山崎委員、降旗委員 [区職員] 坂本区長、林区民文化部長、小林文化・国際交流課長、松岡美術館長、坂本館長代理、弘中学芸員、植松学芸員、印田学芸員、高木学芸員
会議の公開 (傍聴)	<u>公開(傍聴できる)</u> 部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)
傍聴者数	0人
議題	1 報告事項 令和3年度 事務実績報告  2 審議事項 ① 令和5年度 展覧会展示計画及び概要 ② 令和5年度 展覧会内容 ③ 令和5年度 教育普及事業計画
配付資料	① 令和4年度「板橋区立美術館運営協議会」次第 ② 令和4年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿 ③ 令和3年度 事務実績(総括) ④ 令和5年度 年間展示計画 ⑤ 令和5年度 教育普及事業計画
所管課	区民文化部 文化・国際交流課 美術館 3979-3251

議事状況 (会議概要)	<p>(司会：小林文化・国際交流課長)</p> <p>【区長挨拶】</p> <p>【会長挨拶】</p> <p>寺田会長（以下、会長）：それでは、議事に入らせていただく。</p> <p>【報告事項】</p> <p>会長：令和3年度の実績について説明をお願いします。  (松岡館長が資料の1頁から4頁に基づき「令和3年度事務実績」について説明)</p> <p>委員：コロナ禍で過去の実績と比較ができないとの話だが、2019年あたりとは可能ではないか。また、充実した展覧会にするためにも事前の調査をしっかりと行うことが必要であり、今後も継続していただきたい。</p> <p>館長：2019年は美術館がリニューアルオープンした年なので、やはり比較することは難しい。</p> <p>委員：コロナ禍において、オンラインを活用した鑑賞教室を行ったとのことだが、今の子どもたちに非常にマッチしており今後も続けて欲しいが、いかがか。</p> <p>館長：本年度も動画を作って配信した展覧会もあり、紙媒体の冊子などを含めて事前に学習し展覧で実際の作品をご覧くださいといったことを通じて、より充実した鑑賞教室となるよう努めていく。</p> <p>【審議事項】</p> <p>会長：次に、令和5年度展覧会、展示計画など概要について説明をお願いします。  (館長及び各担当学芸員が資料5頁～14頁に沿って展覧会の内容を説明)</p> <p>●質疑</p> <p>(椿椿山展について)</p> <p>委員：椿椿山の作品は美術館で何点所有しているのか。</p> <p>他の委員：3点である。</p> <p>委員：椿椿山展で重要文化財の作品を展示するとのことだが、リニューアルによって重要文化財が展示できる環境が整ったことは喜ばしい。何点ぐらいの展示か。</p> <p>学芸員：重要文化財は10点を予定している。</p> <p>(ポーロニャ国際絵本原画展について)</p> <p>委員：ポーロニャ国際絵本原画展は43回目とのことだが、今後、45回だとか50回目の節目でイベントなどの計画はあるのか。また、本展覧会が契機となった作家は何人くらいいるのか。</p> <p>学芸員：節目については、巡回館でもそれぞれ違う節目があるので、連携しながら新しい企画ができればいいと考えている。</p>
----------------	--

館長：ポローニャ国際絵本原画展を通じて知り合ったイラストレーターは大変多く、美術館の名サポーターとして美術館の事業を多く発信していただいている。講座や講演会なども積極的にご協力いただき、こうしたことが絵本のまち板橋の事業展開に深くつながりを持っている状況である。

区長：絵本のまち関連でお話しさせていただくと、ユネスコで示している創造都市の認定、例えば音楽であれば浜松、金沢であれば伝統工芸、山形の鶴岡だと食文化などがあるが板橋も絵本のまちとして認定を受けることができないかエントリーを行い、文化庁と協議を続けている。

館長から話のあった事業のほか産業部門など各セクションで様々な取り組みを進めているが認定までのハードルは高く皆様からも広い視野から認定が受けられるようご支援をお願いしたい。

委員：絵本のまちの事業で美術館は既に中核を担っていると思っているが、展覧会に合わせて具体的にどういったものがあるのかももう少し詳しく教えてほしい。

また、出版業界と絵本とのつながりや先端事業の取組みが進んでいるEUと作家の国内での活動状況などが分かれば教えてほしい。

館長：絵本のまちについて予算は本年度からなので、実現できている目に見える取組みは美術館と図書館が共催で月に2回行っている講演会がある。一つは大使館の方から海外の状況について話を聞く、もう一つは編集者に来ていただき新しい本のお話を聞くといった内容であり今年の4月から月に2回ほど行っている。また、今年の区民まつりの中で絵本のまちコーナーをつくり、地域で活動しているアーティストなどを取り上げて展示する取り組みを行った。さらに「無印良品」の板橋区南町への出店に際して、絵本のまちとコラボできないか協議を重ね、最終的には包括的な協定を結び店の中に絵本的要素を取り込むことができた。今も店内に三浦太郎のイラストが多く使われている。

区の印刷物についても絵本的要素を取り入れた成果物とするべく、各所管からの相談もあるが絵本の発行までには複数年要することもあり、今少し先のことになると思われる。

区長：それぞれの所管からの報告がある際には、短期間でできると簡単に考えないでクオリティの高い成果物を目指すためには制作までのシナリオを作り、数年必要なことも考慮の上、慎重に進めるように指示している。

また、昨年オープンした中央図書館がグッドデザイン賞を受賞し、公園と一体となっていることもあり日々の来館者が多く大変好評である。その1階部分にポローニャ絵本館を配置し、ポローニャから寄贈された約3万冊の絵本を揃えていることから美術館と連携し絵本のまちに面的につながっていければと考えている。

委員：45周年に向けて、今までのポローニャ展のポスターセッションはいかがか。

また、小学校鑑賞教室では美術館で育った作家さんをゲストティーチャーとして招いて、絵本の大切さや製作の苦労話などをしていただくのはどうか。

館長：ポローニャ展における振り返りは過去に行った実績がある。

45周年を迎えるのは板橋だけであり、イタリア側の展覧会とリンクする必要性が

あることや巡回展であることから技術的な問題がある。

ゲストティーチャーについては、既に常盤台小学校からそのような依頼があり、作家を紹介した実績がある。今後も依頼があった際には適材を紹介することはできると思う。そのような話があった際には、お声がけいただきたい。

(館蔵品展古美術について)

委員：先ほどの椿椿山展の説明で、板橋には椿椿山の代表作品を3点所有していると聞いたがこれは素晴らしいことである。企画展や館蔵品展を開催するにあたっては作品がどれだけ充実しているかが重要なことだが、企画展においてはその核となる代表作品を所有していることで展覧会の企画がうまく循環していく。

これが板橋区立美術館の開館以来43年間の培った成果であり、今後も継続的に作品を購入することで館蔵品の充実を図っていただきたい。

(区民文化祭について)

委員：区民文化祭については、出展される皆さんが1年に1回、区の代表する施設での展示ということもあり頑張って作品を制作している。

今年からワークショップを始め16名の参加があり大変好評だったので、今後、もう少し増やしていきたいと考えている。

(館蔵品展絵本・近現代について)

委員：絵本と前衛の組み合わせが面白い。所蔵作品をどう見せるか、館蔵品展は実験的なことを行える展覧会でもあるので、絵本と前衛をどう結びつけるのか、あまり想像したことのない発想で来館者をどう楽しませるのか興味深い。学芸員の腕の見せ所と期待したい。

(シュルレアリスムと日本について)

委員：全国的にも注目されると思うが、何点ぐらい展示する予定か。

学芸員：作品は80～90点位しか展示できないので、1作家1～2点とし、フォローできない点についてはパネルや図録などで紹介していくことを考えている。西洋作家の展示についての話もあったが、相当数の作品となるため、今回は日本作家の作品に限定していく。同時期に他館で、西洋作品の展示が計画されていると聞いているので西洋と日本で差別化を図って連携していけたらと考えている。

委員：図録が非常に重要だと思う。資料的価値が高まる図録の作成を期待する。

会長：文学運動が絵画に波及し日本に移って花開き、戦後、急速に収束していったかという一連の流れが包括的に分かると、シュルレアリスムへの理解が進むと思う。

委員：100年前の戦間期に始まったシュルレアリスムだが、今また戦争が続いている。

今は情報社会の芸術であり、100年後の今、何が違い何が共鳴しているのか比較してみるのも一考である。

会長：次に、令和5年度の教育普及事業について説明をお願いします。

(館長が内容を説明)

館長：小学生・中高生・高校生以上、それぞれを対象に行う講座は絵本のまち関連の講座である。こどもアトリエは昨年までのひよこアトリエを絵本のまち関連の講座として位置づけ、家族で参加いただき造形体験をするものである。

1日2回で6日間実施する。講師は絵本で活躍する作家にお願いしている。

委員：一般向け技能講座について、立体的な技能講座へ拡充していく構想はあるのか。

館長：絵本のまち事業として行っているので、絵本関連の技能講座となっている。

委員：教育普及活動を専門とする学芸員を増やしていただくことを要望する。また、予算の関係もあるが、粘土や樹木を使った立体的な技能講座を行ってほしい。

委員：板橋区立美術館は、開館当初から子どもを視野に入れた教育普及に力をいれており、全国的にも認められた存在となっている。特に学芸員が展覧会と教育普及に分かれている美術館が多い中、教育プログラムを見て、展覧会を担当する学芸員が一体的に教育普及事業を行っている良さが出ていると感じる。

さらに大人向けに専門家を育てる事業を行うことで、事業を循環させていく取組は素晴らしいと感じる。

会長：現在、美術館はポーローニャ国際絵本原画展を始めとした絵本、近現代、古美術の3本柱で事業展開を続けているが、10年後、20年後に向かって、新しいアーティストの育成に目を向けるような事業展開も考える時期に来ているのではないかと感じる。

予算の関係もあり、すぐにはいかないが検討してみたい。

これで令和4年度板橋区立美術館運営協議会を終了する。

[閉 会]

会議の概要は、以上のとおりである。

# 令和4年度板橋区立美術館運営協議会次第

日時：令和4年12月22日（木）

午前10時

場所：板橋区立美術館講義室

1 開 会

司会：文化・国際交流課長

2 区長挨拶

3 会長挨拶

4 議 事

(1) 報告事項

令和3年度事務実績報告

(美術館長)

(2) 審議

①令和5年度展覧会展示計画及び概要

(美術館長)

②令和5年度展覧会内容

(各担当学芸員)

③令和5年度教育普及事業計画

(美術館長)

(3) その他

5 閉 会

# 令和4年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿

(五十音順)

氏名	現職等	専門分野
岸 ユキ	女優・画家	現代美術
榊原 悟	岡崎市美術博物館 おかざき世界子ども美術博物館館長	古美術
佐藤 道信	東京藝術大学美術学部教授	近代美術
柴田 和豊	東京学芸大学名誉教授	美術教育論
返町 勝治	板橋区美術家連盟代表	美術家
寺田 農	俳優	企画・運営
長田 謙一	東京都立大学客員教授 千葉大学名誉教授	西洋美術 芸術学
降旗 千賀子	フリーランスキュレーター 東京藝術大学客員教授	教育普及
安村 敏信	(一財)北斎館館長	古美術
山崎 洋子	元カフェボローニャ代表	地域文化

任期:令和3年11月1日～令和5年10月31日

## 令和3年度事務実績（総括）

### 1. 展覧会観覧者数

3年度		2年度		元年度		30年度	
9本	31,656	6本	30,159	7本	37,417	3本	5,486

### 2. 教育普及事業参加者数

#### (1) 展覧会にかかる講演会・イベント等

3年度		2年度		
講演会	33	2年度	元年度	30年度
イベント	149	—	778	107
計	182	—	837	—
		0	1,615	107

#### (2) 各種技法講座・教室・各アトリエ

\*印は小学校美術鑑賞教室を再掲

3年度		2年度		元年度		30年度	
11回	726	1回	8	24回	582	11回	254
*6校8回 697人		*なし		*1校1回 69人		*なし	

\*オンラインワークショップを実施

### 3. 自主サークル支援事業参加者数

3年度		2年度		
アトリエ	260	2年度	元年度	30年度
講義室	0	293	387	114
計	260	0	0	0
		293	387	114

### 4. 入館者数合計 (1+2+3) - 697人 (重複のため小学校鑑賞教室を除く)

3年度	2年度		
32,127	2年度	元年度	30年度
	30,460	40,001	5,961

区人口 12月1日 568,664      6%

## 令和3年度 美術館展覧会観覧者数

展覧会名	期 間	開館日数	観覧者数	内 訳					うち招待免除	1日平均	観覧料
				幼児	小・中	高・大	一般	高齢			
さまよえる絵筆	4月1日から 4月25日	22 日	1,397	7	29	38	854	469	283	64	有料
館藏品展(古美術) 「はじめましてかけ じくです」	6月5日 から 7月4日	26 日	2,307	49	108	113	1,188	849	/	89	無料
2021 イタリアポローニャ 国際絵本原画展	7月17日 から 8月15日	26 日	4,846	332	426	338	3,382	368	1,508	186	有料
館藏品展(近現代) 「目力展」	8月28日 から 10月3日	32 日	3,120	124	369	126	1,712	789	/	98	無料
「区民文化祭」	10月14日 から 11月7日	19 日	4,446	104	428	85	1,455	2,374	/	234	無料
ポール・コックス展	11月20日 から 1月10日	40 日	5,925	404	479	313	4,410	319	1,631	148	有料
「区立小・中学校 作品展」	1月18日 から 2月20日	28 日	7,725	366	2,488	70	3,788	1,013	/	/	無料
佐藤太清記念 中学生絵画展	2月10日 から 2月13日	4 日	183	8	15	10	98	52	/	46	無料
建部凌岱展	3月12日 から 3月31日	17 日	1,707	16	50	49	1,013	579	264	100	有料
	/	214 日	31,656	1,410	4,392	1,142	17,900	6,812	3,686	148	/

## 令和3年度 教育普及事業実績

### 1 講演会

No.	実施月日	テーマ及び講師	参加人員	展覧会名
1	3月20日	講演会「建部凌岱の生涯と画業」 当館学芸員	33	建部凌岱展
合 計			33	

### 2 イベント

No.	実施月日	イベント内容、テーマ及び講師		参加人員	展覧会名
1	4月17日	対談「前衛画家たちの中に息づくルネサンス、そして祖父杉全直が教えてくれたこと」 杉全美帆子×当館学芸員		37	さまよえる絵筆
2	11月21日	対談「ポール・コックスの古事記絵本」 伏見操(翻訳家)、増井麻美(岩崎書店編集者)×当館館長		23	ポール・コックス展
3	12月18日	対談「ポール・コックスに聞く」 ポール・コックス(オンライン参加)、伏見操(翻訳家)×当館館長		41	ポール・コックス展
4	6月12日	スライドトーク	当館学芸員によるスライドトーク	22	はじめまして かけじくです
5	6月26日			26	
合 計				149	

### 3 技法講座・教室・各アトリエ

No.	事業名	内 容	講 師	実施回数	人員
1	ワークショップ 「オリジナルキャラクターの制作と展開」	ゲームのキャラクターの作り方、ストーリーの展開のさせ方を学び、新たな絵本制作の方法を実習する。	からさわようすけ (絵本作家、ゲームデザイナー)	11月27日、12月4日 (全2回)	5
2	ワークショップ 「しかけ絵本講座」	しかけ絵本と「からくり」について学び、なかでもとくに珍しい「のぞきからくり絵本」についての講義と絵本の実見、そして制作を行う。	吉田稔美 (絵本作家、イラストレーター)	11月28日、12月5日 (全2回)	11
3	ひよこ・たぬきアトリエ 「ちいさな映画館をつくらう！」	幼児(3歳)から小学生がさまざまなジャンルのアーティストによる指導のもと親子で楽しみながら造形体験をするワークショップ。	前川明子 (イラストレーター・デザイナー)	3月13日 (1日2回)	13
4	小学生 美術鑑賞教室	小学生が美術館を訪れ、美術作品を実際に見ることで、興味を引き出し、作品の美しさや面白さを体感できる機会とする。	当館学芸員	9月～2月 (計8回)	697
合 計					726

#### 4 小学生美術鑑賞教室

No.	イベント名	内容・講師	実施月日	参加人員	開催展覧会
1	小学生鑑賞教室 (志村第二小5年生)	内容:小学生が美術作品を美術館で 実際に見ることで、興味を引き出し、 作品の美しさや面白さを感じる機会と する。 講師:当館学芸員	9月13日 オンライン	104	目力展
2	小学生鑑賞教室 (志村第二小4年生)		9月28日 オンライン	94	
3	小学生鑑賞教室 (志村第一小3年生)		11月24日	60	ポール・コックス展
4	小学生鑑賞教室 (志村第二小4年生)		12月17日	95	
5	小学生鑑賞教室 (下赤塚小3年生)		12月21日	92	
6	小学生鑑賞教室 (舟渡小3年生)		1月19日	95	小・中学校作品展
7	小学生鑑賞教室 (志村第五小3年生)		2月15日	71	
8	小学生鑑賞教室 (三園小5年生)		2月18日	86	
		合 計	697		
		(内訳)	児童	643	
			引率	54	

## 令和5年度 年間展示計画

会 期	展 覧 会 名	概 要	料 金
3月18日(土) ～ 4月16日(日) 【26日間】	特別展 古美術 「椿椿山展」	19世紀に江戸で活躍した椿椿山は、関東の文人画を語る上で欠かせない人物です。その写実表現や軽やかな色彩感覚は後世にも大きな影響を与えました。本展では肖像画や真景図など、重要文化財に指定されている貴重な作品も展示いたします。	有料
4月29日(土) ～ 6月4日(日) 【32日間】	「生誕110年展佐藤太清 ～水の心象(仮称)」 (板橋区文化・国際交流 財団主催)	板橋区ゆかりの日本画家佐藤太清の生誕110周年を記念して行う回顧展です。太清が生涯に渡って多数描いた「水」に関する作品に着目し、約70年の画業における作品変遷、自然を描いた足跡をご紹介します。	有料
6月24日(土) ～ 8月13日(日) 【44日間】	2023イタリア・ボロー ニャ国際絵本原画展	今回で開催57回目を迎えるイタリア・ボローニャ市で毎年開催されている世界最大の規模を誇る絵本原画コンクール。世界中の新人イラストレーターの登竜門とされている国際コンクールの入選作品を展示します。板橋では43回目を迎えます。	有料
8月26日(土) ～ 10月1日(日) 【32日間】	館藏品展(古美術) 「狩野派以外学習帳」 (仮称)	令和2年(2020)に開催した館藏品展「狩野派学習帳」の第二弾として、民間の絵師の作品を取り上げます。様々な流派の民間の絵師が活躍し、互いに影響を受け合うようになった江戸中期以降を中心に、江戸狩野派との比較などを交え、館藏品・寄託品を通してそれらの活況をお伝えします。	無料
10月12日(木) ～ 11月5日(日) 【19日間】	区民文化祭	区民書道展 [10/12～10/15] 4日 美術家作品展 [10/18～10/22] 5日 区民美術展 [10/25～10/29] 5日 書家作品展 [11/1～11/5] 5日	無料
11月18日(土) ～ 1月8日(月・祝) 【40日間】	館藏品展 (絵本・近現代) 「展覧会のちょっといい話 ～絵本と近代美術のあれ これ(仮称)～」	近年、板橋区立美術館に寄贈された近代美術と絵本の作品、資料をまとめて紹介。近代美術の部門では戦中、戦後の日本の社会を見つめた油彩画、デッサンなどを紹介し、近代美術史を振り返ります。絵本の部門ではレオ・レオーニ作品や、イタリアのバリア・フリー絵本のコレクションなどを展示します。	無料
1月16日(火) ～ 2月18日(日) 【28日間】	区立小・中学校 作品展	中学校作品展 [1/16～1/28] 12日 小学校児童作品展 [2/1～2/18] 16日	無料
2月8日(木) ～ 2月11日(日) 【4日間】 場所:成増アクトホール	佐藤太清記念 中学生絵画展	佐藤太清記念青少年美術奨励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画作品を広く公募し、展示。また京都府福知山市が全国の高・大学生から公募した絵画作品の巡回展を同時開催します。	無料
3月2日(土) ～ 4月14日(日) 【38日間】	シュルレアリスム宣言 100年 シュルレアリスムと日本 (仮称)	アンドレ・ブルトンによる『シュルレアリスム宣言』から100年を記念して、日本各地でシュルレアリスムがどのように展開していったのかを絵画やデッサンをはじめとする作品や美術雑誌、書籍などの資料から読み解きます。20世紀最大の美術運動が日本の美術史に大きな影響を及ぼしたことが見えてくるでしょう。	有料

つばきちんざん  
「椿椿山展」

趣 旨 椿椿山 (1801～1854) は、関東の文人画を語る上で欠かせない人物の一人です。江戸の地に生まれ、はじめ金子金陵に師事し、のちに渡辺崋山に絵を学びます。とくに花鳥画の制作に力を注ぎ、「崋椿系」と呼ばれた崋山と椿山の花鳥画作品は、近代以降の画家たちにも影響を与えました。さらに、崋山の「鷹見泉石像」(東京国立博物館蔵・国宝)に見られるような写生風の肖像画技法も弟子たちの中で唯一受け継ぎます。このように崋山の影響を受けながらも、椿山は淡い色づかいによる穏やかな画風を確立しました。この画風は近代以降の画家たちにも受け継がれていきます。

本展は、江戸時代の文人画における重要人物でありながら崋山というビックネームに隠れていた椿山を、関東で初めて本格的に取り上げる展覧会です。またリニューアルオープンによって展示環境が改善されたため、重要文化財に指定されている貴重な作品を複数展示する予定です。

会 期 令和 5 (2023) 年 3 月 18 日 (土) ～4 月 16 日 (日)  
【26 日間】

開 館 時 間 9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)

休 館 日 月曜日

主 催 ・ 会 場 板橋区立美術館、東京新聞

企 画 協 力 安村敏信 (元板橋区立美術館長・萬美術屋)

観 覧 料 一般 650 円、高・大生 450 円、小・中学生 200 円

関連イベント 講演会、ギャラリートーク、小学生鑑賞教室

展 示 点 数 屏風、掛軸、版本など約 110 点

## 生誕 110 年展 佐藤太清 水の心象 (仮称)

趣 旨	<p>日本画家の佐藤太清（1913～2004）は、京都府福知山市に生まれ、昭和 20 年（1945）から 60 年間を板橋区で過ごしました。このたびの展覧会では、佐藤太清生誕 110 年の節目の年に、太清が生涯に渡って多数描き出した「水」に関する作品に着目し、約 70 年の画業における作品変遷、自然を描いた足跡、感受した自然を解釈したことにより生まれた作品を展覧するものです。</p> <p>また、作家によって残された約 1,000 種類の日本絵具もご覧いただきます。</p>
会 期	令和 5（2023）年 4 月 29 日（土・祝）～6 月 4 日（日） 【32 日間】
開 館 時 間	9:30～17:00（入館は 16:30 まで）
休 館 日	月曜日
主 催 ・ 会 場	生誕 110 周年佐藤太清展実行委員会、 （公財）板橋区文化・国際交流財団、板橋区
観 覧 料	一般 650 円、高・大学生 450 円、小・中学生 200 円
関連イベント	コンサート
展 示 点 数	約 50 点

## 「2023 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

**趣 旨** イタリアのボローニャで毎年児童書専門のブックフェアが行われます。本展はこのブックフェアが主催する子どもの本のイラストレーションのコンクールの入選作品を紹介するものです。国籍の異なる5人の審査員は毎年入れ替わり、多様性を重視して選考されます。また、出版・未出版を問わず応募できるため新人作家の登竜門としても知られ、多くの絵本作家を輩出してきました。

板橋での巡回は2023年で43回目となります。来場者には若者や家族連れも目立ち、またイラストレーターや出版関係者が多く訪れることも本展の特徴です。会期中には子どもや作り手に向けた講座やワークショップも予定しています。

**会 期** 令和5（2023）年6月24日（土）～8月13日（日）  
【44日間】

**開館時間** 9:30～17:00（入館は16:30まで）

**休館日** 月曜日  
但し7月17日（月・祝）は開館し、翌18日（火）は休館

**主催・会場** 板橋区立美術館、  
JBBY（一般社団法人日本国際児童図書評議会）

**観覧料** 一般650円、高・大生450円、小・中学生200円

**関連イベント** ワークショップ、講演会、小学校の鑑賞教室

**展示点数** 入選作品約400点

**巡回予定** 西宮市大谷記念美術館、石川県七尾美術館

## 館蔵品展

# 狩野派以外学習帳

- 趣 旨 当館では、江戸絵画の正統を成した江戸狩野派に注目した館蔵品展「狩野派学習帳」を令和2年(2020)に行いました。本展ではその第二弾として、民間の絵師の作品を取り上げます。
- 江戸中期頃、一つの文化圏としての都市に成長した江戸では、浮世絵を先駆けとしてやまと絵や南蘋派、琳派、洋風画など様々な流派の民間の絵師が活躍し、互いに影響を受け合うようになりました。展示では、江戸狩野派との比較などを交え、館蔵品・寄託品を通してそれらの活況をお伝えします。
- 会 期 令和5(2023)年8月26日(土)～10月1日(日)  
【32日間】
- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(但し9月18日(月)開館、9月19日(火)休館)
- 主催・会場 板橋区立美術館
- 観覧料 無料
- 関連イベント スライドトーク、ワークショップ、小学生鑑賞教室
- 展示点数 屏風、掛軸など約50点

# 「区民文化祭」

趣 旨 広く区民の美術・書道の普及、発展を図るため、区民参加による展覧会を開催します。

会 期 令和5(2023)年10月12日(木)  
～11月5日(日)〔19日間〕

(1) 区民書道展 10月12日(木)～10月15日(日)〔4日間〕

(2) 美術家作品展 10月18日(水)～10月22日(日)〔5日間〕

(3) 区民美術展 10月25日(水)～10月29日(日)〔5日間〕

(4) 書家作品展 11月1日(水)～11月5日(日)〔5日間〕

主 催 板橋区

共 催 板橋区文化団体連合会、板橋区書道連盟、板橋区美術家連盟、  
(公財)板橋区文化・国際交流財団

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

## 「区立小・中学校作品展」

趣 旨 小・中学校における書道・美術・図工学習の成果を展示し、広く区民に鑑賞の機会を設けます。

会 期 令和6(2024)年1月16日(火)～2月18日(日)  
【28日間】

(1) 中学校美術展 1月16日(火)～1月28日(日)【12日間】

(2) 小学校児童作品展 2月1日(木)～2月18日(日)【16日間】

開 館 時 間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

実 施 団 体 板橋区教育委員会  
板橋区立中学校教育研究会  
板橋区教育会  
板橋区立中学校教育研究会国語科研究部  
板橋区立中学校教育研究会美術科研究部  
板橋区教育会書写研究部  
板橋区教育会図工研究部

## 「佐藤太清記念中学生絵画展」

趣 旨 青少年の美術教育の一層の充実を図るため、佐藤太清青少年美術励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画美術作品を広く公募し、「佐藤太清記念 中学生絵画展」を開催します。令和5年度で第22回目の開催となります。

また、京都府福知山市が全国の高校生・大学生から公募した絵画作品を展示する「佐藤太清賞公募美術展」の巡回展を同時に開催します。

会 期 令和6(2024)年2月8日(木)～2月11日(日)  
【4日間】

展 示 構 成 「中学生絵画展」 (中学生) 42点程度  
・佐藤太清賞 1点  
・板橋区長賞 1点  
・特 選 10点程度  
・入 選 30点程度  
※それぞれに賞状と記念品を授与します。

「佐藤太清賞公募美術展」-福知山市分- 67点程度  
・絵画の部(高校生)  
佐藤太清賞 3点  
特 選 9点程度  
入 選 23点程度  
・日本画の部(大学・専門学生)  
佐藤太清賞 1点  
特 選 3点程度  
入 選 26点程度

※特選作品の中から各1点に板橋区長賞を授与します。

主 催 板橋区立美術館

会 場 成増アクトホール

協 力 京都府福知山市

観 覧 料 無 料

## 館蔵品展

### 「展覧会のちょっといい話

### 絵本と近代美術のあれこれ（仮称）」

趣 旨	<p>板橋区立美術館の展覧会やワークショップをきっかけにして、新たな作品やネットワークが生まれ、また展示作品をご寄贈いただくことがあります。絵本と近代美術に関する展覧会を機に集まってきた作品や資料を学芸員のちょっといい話と共にご紹介する展覧会です。</p> <p>絵本の部門では2019年にご寄贈いただいた彫刻作品《幻想の庭》をはじめとするレオ・レオーニ作品や、イタリアのバリア・フリー絵本のコレクションなどを展示します。近代美術の部門では新たにコレクションに加わった戦中、戦後の日本の社会を見つめた油彩画、デッサンなどを既に所蔵している作品と組み合わせて展示し、当館のコレクションの特徴である日本の前衛美術史を振り返ります。</p>
会 期	令和5（2023）年11月18日（土） ～令和6（2024）年1月8日（月・祝） 【40日間】
開 館 時 間	9:30～17:00（入館は16:30まで）
休 館 日	月曜日（但し1月8日（月・祝）開館）
主 催 ・ 会 場	板橋区立美術館
観 覧 料	無 料
関 連 イ ベ ン ト	ワークショップ、小学校鑑賞教室、ギャラリートーク
展 示 点 数	イラスト、バリアフリー絵本、油彩画、デッサン、他、 約90点

## 『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本（仮称）

趣 旨	<p>1924年、アンドレ・ブルトンが『シュルレアリスム宣言』を発表し、20世紀の芸術、思想、文化に広範な影響をおよぼしたシュルレアリスム運動が創始されました。この思想は遠く離れた日本にも紹介されます。</p> <p>日本においてシュルレアリスム絵画は、古賀春江や東郷青児といった二科会の画家たちの間で試みられ、その後、福沢一郎がマックス・エルンストのコラージュに着想を得た絵画を発表します。彼らに続き、若い画家や画学生もエルンストやダリの作品に影響を受けた作品を描きました。しかし、日中戦争に始まる戦争の時代は画家たちの自由な制作や発表の機会を奪いました。シュルレアリスムは危険思想と見なされ、福沢らは逮捕されてしまいます。戦時下の画家たちは許される範囲での制作の道を模索し、戦後もまた描くことを通して、人間や社会と対峙し続けました。</p> <p>本展は『シュルレアリスム宣言』から100年を記念して、日本各地でシュルレアリスムがどのように紹介、解釈され、展開していったのかを作品や美術雑誌、書籍などの資料から読み解きます。それにより20世紀最大の美術運動が日本の美術史に大きな影響を及ぼしたことが見えてくるでしょう。</p>
会 期	令和6（2024）年3月2日（土）～4月14日（日） 【38日間】
開 館 時 間	9:30～17:00（入館は16:30まで）
休 館 日	月曜日
主 催 ・ 会 場	板橋区立美術館・東京新聞
観 覧 料	一般 650 円、高・大生 450 円、小・中学生 200 円
関連イベント	講演会、シンポジウム、ギャラリートーク、小学生鑑賞教室
展 示 点 数	油彩画、写真、デッサン、書籍、写真資料、他、約 100 点
巡 回	京都府京都文化博物館、三重県立美術館

## 令和5（2023）年度教育普及事業

### 一般向け美術技法講座・教室

講座名	内容	回数
館蔵品展 ワークショップ	館蔵品展の開催に合わせて、作品に親しむためのワークショップを開催する。 (古美術、絵本+近現代で各2回を予定)	4
小学生対象講座	小学生を対象とした、しかけ絵本づくりを学ぶ企画。(3日間で1回)	1
中高生対象講座	中高生を対象とした、絵本のキャラクター作成を学ぶ企画。(2日間で1回)	1
高校生以上対象講座	高校生以上の一般を対象に、しかけ絵本等様々な技法を学ぶ企画(3日間で1回)	2

### 子ども対象事業

講座名	内容	回数
こどもアトリエ	3歳から小学生の家族対象。アーティストとともに親子で造形体験をする。	12